

第12回 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議 議事要旨

開催日時：平成24年12月19日（水） 13:00～14:30

開催場所：宇都宮国道事務所2階会議室

出席者：宇都宮大学大学院教授	森本 章倫(委員長)
(社)栃木県観光物産協会会長	新井 俊一(代理出席)
栃木県地区交通安全協会女性部連合会	五十嵐 清江
栃木県教育委員会委員	岡田 豊子
(社)栃木県商工会議所連合会会長	北村 光弘(代理出席)
下野新聞社宇都宮総局局長・論説委員	篠田 裕次
(社)栃木県トラック協会会長	関谷 忠泉
栃木県NPO協会会長	高野 幸夫(代理出席)
(社)栃木県バス協会会長	手塚 基文(代理出席)
NPO法人 e-とちぎ代表理事	藤平 昌寿
栃木県警察本部 交通規制課長	石川 二三男(代理出席)
東日本高速道路(株)関東支社宇都宮管理事務所長	狩野 雄一
栃木県県土整備部 交通政策課長	福田 晴康
道路整備課長	見目 正明(代理出席)
道路保全課長	横嶋 利光
都市計画課長	根岸 昭夫(代理出席)
都市整備課長	岡田 孝一
関東運輸局 栃木運輸支局長	山崎 正
国土交通省宇都宮国道事務所長	小路 泰広

議事

- (1) 主要渋滞箇所の特定について
 - ・アンケート実施内容、結果
 - ・主要渋滞箇所の特定方法・結果(案)
- (2) 事故ゼロプランについて
- (3) 道路行政をめぐる最近の状況報告

議事要旨

- (1) 主要渋滞箇所の特定について
 - ・主要渋滞箇所の特定方法については、関東統一としているが、ほぼ全国統一に近いものである。
 - ・主要渋滞箇所については、他の事業や沿道の利用状況の変化などにより、渋滞状況が変化することも考えられるため、継続的に観察をしながら対策の進めかたを考え

ていきたい。

- ・ 渋滞対策による渋滞の解消については、対策により、ある箇所の渋滞が解消すれば他の箇所が渋滞するということもあるため、今回の選定では、箇所だけではなく区間や面での視点による選定も行っている。
- ・ 栃木県の道路行政マネジメントは全国に先駆けて取り組んできたが、全国的な取り組みが追い付いてきて、仕組みや基準をそちらに合わせる必要がでてきたため、今回は内容の調整やフローの工夫が必要となった。全国的な基準に合わせることで、他県との比較・検討が可能となるが、これからも地域に根差した議論を行っていきたい。
- ・ 主要渋滞箇所の特定方法・特定結果について、了承された。

(2) 事故ゼロプランについて

- ・ 宇都宮市雀宮地区の高砂区間と駅北区間について、事故危険区間に追加したい。
- ・ この2区間は、現在事故ゼロプランの代表区間として実施している「国道4号宇都宮市雀宮4丁目（駅前区間）」に接する区間であり、連続した整備により、交通事故の軽減等効果が見込まれる。
- ・ また、地域及び地元自治体からも要望を頂いているところである。
- ・ 宇都宮市雀宮地区の高砂区間と駅北区間を事故危険区間に追加することについて、了解された。

(3) 道路行政をめぐる最近の状況報告

意見、質疑なし

(4) スケジュールについて

- ・ 次回、第13回委員会の開催は来年1月以降を予定している。

以上